



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者
執行委員長 針谷 歩

2022/2/7 No68

2月7日 2022年3月ダイヤ改正に関する 八地申第6号 申し入れ 提出!

八王子地本は2021年12月23日「2022年3月ダイヤ改正等について」提案を受けました。

ダイヤ改正のみではなく、「柔軟な働き方実現に向けた営業統括センターの設置」「組織再編」などの施策とも絡み合い、運転職場の働き方が大きく変化する過渡期であると共に、新たな働き方への変化点の中でお客さまへ安全で安心な鉄道を提供していかなければなりません。

JR 東日本は安全をトッププライオリティとしています。柔軟な働き方を実現しつつも、乗務員の安全レベル向上を根底に据えた輸送商品を提供し、サービス並びに快適で新たな価値の創出を生む輸送体系にしなければなりません。そのためにも社員一人ひとりが安全・健康・ゆとり・働きがいを実感する施策とするため下記の通り申し入れを行いました。

申し入れ内容

1. 乗務員職場の基本となる出面数における必要な要員数を明らかにすること。
2. 業務の繁閑等に応じた一日当たりの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定するとした根拠を示すこと。
3. 上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合があるとした目的と根拠を明らかにすること。また、どのような場合に業務を指示する考えがあるのか具体的に明らかにすること。
4. お客さまのご利用状況等に応じて柔軟にダイヤ設定をしていく考えも提案時に示されたが、その判断基準と根拠及び考え方を明らかにすること。
5. 事業便列車に指定されている行路については、乗務員の出場時間を指定し、駅社員との連携がスムーズに行える体制を構築すること。
6. 予定臨の運行計画について、会社の考えを明らかにすること。また、社員への周知を行い、計画的な業務遂行が行える体制とすること。
7. 乗務員の相互運用について、今後の考え方を明らかにすること。
8. 2021年度の波動実績と波動要員を明らかにすること。
9. 準備時間・折返し時間・整理時間がそれぞれ削減されている根拠と内訳について考え方を明らかにすること。
10. 実質的に必要な労働時間を確保すると同時に、今後も現場の声をもとに改善していくこと。

No.68 その2へ...

